

高崎市の郊外に「君が代橋」という自動車道路橋があります。国道18号（長野方面）と国道17号（新潟方面）が合流する、重要な橋です。この橋から不思議な雲が見えました。

一瞬、「かなとこ雲」のように見えました。かなとこ雲というのは、積乱雲の雲頂が圏界面（対流圏と成層圏の境界面）に達して、横に向かって発達した「擬巻雲」の一種です。しかし、この季節に積乱雲はまず発達しません。「つるし雲」のようにも見えました。つるし雲というのは、富士山や浅間山のような独立峰の山頂付近に強風が吹いている時に、山頂から離れた風下側に発生する特異な雲です。しかし、もちろん高崎市には独立峰などありません。

これは「層積雲」の一種で、たまたまこのような形になったのだと思います。これから梅雨が近づくと、空模様は多彩になります。要は、さまざまな種類の雲が現れやすいということです。空の雲にも気を付けて過ごしたいと思います。

(2025年5月上旬／高崎市君が代橋)

